

平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月14日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社アメイブ

コード番号 6076 URL <http://www.az-hotels.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴見保雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 児玉幸子

TEL 097-524-3301

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第3四半期の業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	7,884	14.2	1,051	△6.0	868	△13.6	496	△18.2
25年11月期第3四半期	6,904	—	1,117	—	1,005	—	606	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	65.25	—
25年11月期第3四半期	96.58	—

(注) 当社は、第3四半期の業績開示を平成25年11月期から行っているため、平成25年11月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	23,298	—	4,683	—	—	20.1
25年11月期	20,347	—	4,491	—	—	22.1

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 4,683百万円 25年11月期 4,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	—	—	40.00	40.00
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,270	10.2	1,190	△16.7	1,060	△18.0	630	△20.0	82.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年11月期3Q	7,602,000 株	25年11月期	7,602,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年11月期3Q	129 株	25年11月期	99 株
-----------	-------	---------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期3Q	7,601,882 株	25年11月期3Q	6,277,221 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	1
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	1
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済政策や日銀の金融緩和政策を背景にして、企業業績の改善や個人消費の持ち直しがみられるなど、全体として緩やかな景気回復の兆しが見えてきました。しかしながら、不安定な海外情勢や円安による原材料の上昇などの影響により、先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、景気の回復に伴い、ビジネス、観光ともに需要が回復し、客室稼働率は改善してきておりますが、天候不順にも悩まされ、厳しい経営状態が続いております。

当社においては、91室タイプのHOTEL AZ新店舗である福岡直方店、長崎鹿町店を出店し、今期の新規出店数は14店舗となりました。このようにHOTEL AZブランドの定着及びドミナント化を推進し、集客力強化を図ってきました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は78億84百万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益は10億51百万円（前年同四半期比6.0%減）、経常利益は8億68百万円（前年同四半期比13.6%減）、四半期純利益は4億96百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

なお、当第3四半期会計期間末における店舗数は、ホテル店舗が51店舗（直営店48店舗、FC3店舗）、館外飲食店舗が6店舗であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況について

当第3四半期会計期間末における資産は232億98百万円（前事業年度末比29億50百万円増加）となりました。主な変動要因は建物4億87百万円の増加、リース資産24億15百万円の増加などによるものであります。

また、負債は186億14百万円（前事業年度末比27億58百万円増加）となりました。主な変動要因は、短期借入金11億円の増加、リース債務23億51百万円の増加、長期借入金5億10百万円の減少、未払法人税等2億92百万円の減少などによるものです。

なお、純資産は46億83百万円（前事業年度末比1億92百万円の増加）となりました。主な変動要因は、利益剰余金1億91百万円の増加などによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は、資産の有効活用を図り、ロードサイド型ビジネス事業に集中するため、亀の井ホテル大分別府店の譲渡を決定し、売買契約を締結しております。当該譲渡に係る固定資産売却益として特別利益が発生する見込みであり、平成26年10月29日に予定している固定資産譲渡契約の完了後、損益に関する影響を精査し、業績予想の修正を開示する予定です。

当該固定資産譲渡の詳細につきましては「4. (6) 重要な後発事象」及び平成26年9月29日に開示した「亀の井ホテル大分別府店譲渡に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税率の変更等による影響

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成26年12月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については、従来の37.8%から35.4%になります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	662	398
売掛金	139	203
商品	4	5
原材料及び貯蔵品	44	41
その他	122	122
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	969	766
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,793	9,281
土地	3,614	3,612
リース資産(純額)	5,557	7,973
その他(純額)	697	891
有形固定資産合計	18,663	21,758
無形固定資産	157	153
投資その他の資産		
その他	557	620
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	557	619
固定資産合計	19,378	22,532
資産合計	20,347	23,298

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146	180
短期借入金	800	1,900
1年内返済予定の長期借入金	669	669
リース債務	373	432
未払法人税等	381	88
賞与引当金	—	28
ポイント引当金	9	16
その他	631	673
流動負債合計	3,012	3,991
固定負債		
長期借入金	11,272	10,761
リース債務	1,306	3,599
退職給付引当金	44	49
役員退職慰労引当金	58	62
資産除去債務	134	136
その他	27	14
固定負債合計	12,844	14,623
負債合計	15,856	18,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	500	500
利益剰余金	2,687	2,879
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,487	4,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	4
評価・換算差額等合計	3	4
純資産合計	4,491	4,683
負債純資産合計	20,347	23,298

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	6,904	7,884
売上原価	1,084	1,205
売上総利益	5,820	6,678
販売費及び一般管理費	4,702	5,627
営業利益	1,117	1,051
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	0	0
受取賃貸料	31	32
その他	4	2
営業外収益合計	38	38
営業外費用		
支払利息	143	219
その他	7	0
営業外費用合計	151	220
経常利益	1,005	868
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1	8
特別損失合計	1	8
税引前四半期純利益	1,004	859
法人税、住民税及び事業税	382	354
法人税等調整額	15	9
法人税等合計	398	363
四半期純利益	606	496

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、報告セグメントがホテル宿泊事業一つであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成26年9月18日開催の取締役会において、以下のとおり、亀の井ホテル大分別府店の譲渡を決議し、平成26年9月19日付で売買契約を締結いたしました。

なお、当該売買契約においては、譲渡実行日までに当社が成就すべき複数の売買実行前提条件が定められております。

1. 売却の理由

資産の有効活用を図り、ロードサイド型ビジネスホテル事業に集中するため

2. 譲渡資産の内容

亀の井ホテル大分別府店に関する土地、建物等

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先の意向により控えさせていただきます。

なお、譲渡先と当社との間には、資本関係・人的関係・取引関係のいずれもありません。

また、当社の関連当事者には該当しません。

4. 譲渡の日程

(1) 取締役会決議日	平成26年 9月18日
(2) 契約締結日	平成26年 9月19日
(3) 譲渡実行日	平成26年10月29日 (予定)

5. 今後の見通し

当社は、売買実行前提条件の成就に向けて対応いたします。売買実行前提条件が成就され、譲渡が完了した場合には、固定資産売却益として特別利益が発生する見込みであります。